

市長公約の令和6年度(2024年度)進捗状況（集計）

【進捗状況】 実 施：実施済み，または推進中のもの
一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
検 討 中：実施に向け，検討を行っているもの
※ うち新規等：市長就任後に新規に実施，または拡充して実施のもの

分 野	実施	一部実施	検討中	分野合計
	うち新規等	うち新規等		
1 子どもたちの未来を守ります	12	3	2	17
	12	2		14
2 医療，福祉，暮らしを支えます	40	6	13	59
	18	5		23
3 経済・観光を再生します	35	5	7	47
	22	3		25
4 文化・スポーツ振興で未来を育みます	4	4	6	14
	2	2		4
進 捗 状 況 合 計	91	18	28	137
	54	12		66

※公約138項目のうち，「手話言語，障害者コミュニケーション条例の制定」は，再掲分を含め1項目としているため，集計上，“137”となる

市長公約の令和6年度(2024年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み、または推進中のもの（実施とした年度を表記）
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの（一部実施とした年度を表記）
 検 討 中 : 実施に向け、検討を行っているもの（該当するものに●）
 ※うち新規等：市長就任後に新規に実施、または拡充して実施のもの（該当するものに●）

公約項目	実 施	一部実施		検 討 中	R 6 年度までの取組内容
		うち新規等	うち新規等		
1 子どもたちの未来を守ります					
1 第2子以降の保育料無償化（所得制限なし）	R5	●			・ R 6 年度から、認可保育所や認定こども園において第2子以降保育料の完全無償化を実施 （R 5：既存システムの改修等の準備を実施）
2 入学準備のため、新小学校1年生を対象に1人につき10万円支給（所得制限なし）	R5	●			・ R 6 年度から、小学校に入学した子どもの保護者に対して1人10万円の祝金を支給 （R 5：支給に向け、システム構築等を実施）
3 子ども総合支援センターの整備（0歳から高校生までの悩み不安への相談・支援）	R5	●			・ R 6 年4月に「子ども家庭センター」を開設し、児童虐待やヤングケアラーに対する支援体制を強化 （R 5：開設に向けた取組を実施）
4 子ども冒険公園（プレーパーク）の整備				●	・ 子ども冒険公園（プレーパーク）の実施に向け、おためしプレーパークを実施 （R 5：実施に向け、関係団体との意見交換等を実施）
5 児童向け海洋学習・釣り体験・食育の機会拡充	R5	●			[児童向け海洋学習] ・ マリンフェスティバルやJ A M S T E Cとの児童生徒向け事業を継続実施したほか、R 6 年度から学校での「海洋に関するS T E A M教育」を実施 [釣り体験] ・ 函館港湾施設（緑の島）での釣り場・釣りイベント会場の提供の継続実施 [食育] ・ 若い世代への食育実践事業（親子料理教室）や離乳食教室の継続開催
6 学童保育の支援、学童保育料助成の拡充	R5	●			・ 冷房装置の設置費用に対する支援を実施したほか、南茅部地区において新たに放課後児童の預かり事業を実施 （R 5：保育料軽減を拡充 月5千円→6千円）
7 いじめ未然防止対策の強化	R5	●			・ いじめ防止対策に関する調査審議および重大事態発生時の調査を行う「いじめ防止対策審議会」を開催したほか、いじめ見逃しゼロリーフレットの配付や「子どもの悩み相談電話」を継続実施 ・ 小学校スクールカウンセラーの派遣を拡充（1校あたり年6～8回→年11回）
8 ヤングケアラーとその家族を支える対策の推進	R5	●			・ 理解を深めるための講演会や研修会を開催したほか、早期発見のためのチェックリストを盛り込んだ市独自の支援マニュアルを作成 （R 5：実態調査の実施、シンポジウムの開催）
9 子どもの体力向上、運動習慣定着促進			R5	●	
①保育園、幼稚園にプレイリーダーの派遣（スポーツクラブと連携）			(R5)	(●)	・ 市内全施設に対して実態調査を実施した結果、全施設が幼児期運動指針を念頭に置いた適切な運動遊びを実施している状態を把握 ・ スポーツ指導者資格取得および派遣に要する補助を継続実施
②安全にボール遊びができる地域公園など子どもが安心して遊べる場の創出				(●)	・ 関係団体との意見交換の結果を踏まえ、子ども冒険公園（プレーパーク）と併せて内部検討を実施
10 「未来の学び」推進会議の設置				●	・ 子ども未来部と教育委員会が「未来の学び」に一致して執行にあたる体制等について、内部検討を継続実施
11 公立はこだて未来大学授業料無償化対象の拡大検討 ※北斗市、七飯町と協議する（入学3年前から市内に居住する市民を対象、世帯年収上限を引上げ）	R5	●			・ R 6 年度から2市1町（函館市、北斗市、七飯町）に生計維持者が入学時3年前から継続して住所を有する学部生（在学生を含む）を対象に授業料・入学金の無償化を実施 （R 5：実施に向け関係機関との協議等を実施）
12 教育D Xで誰もが自分らしく学べる環境の整備	R5	●			・ I C T機器等の環境整備やI C Tサポートセンターの運営、デジタルA Iドリルの運用を継続実施したほか、英語教科でデジタル教科書を活用するなど新たなデジタルコンテンツの本格活用を開始した
13 私立学校・私立専修学校への運営助成費を拡充	R5	●			・ 運営助成費の継続実施 （R 5：単価増額:学生・生徒3万円/人→4万2千円/人）

市長公約の令和6年度(2024年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み、または推進中のもの（実施とした年度を表記）
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの（一部実施とした年度を表記）
 検 討 中 : 実施に向け、検討を行っているもの（該当するものに●）
 ※うち新規等：市長就任後に新規に実施、または拡充して実施のもの（該当するものに●）

公約項目	実 施	一部実施		検 討 中	R 6 年度までの取組内容
		うち新規等	うち新規等		
14 スクールカウンセラー・特別支援員の増員	R5	●			・ 小学校スクールカウンセラーの派遣を拡充（1校あたり年6～8回→年11回） ・ 特別支援教育支援員を8名増員（R5：6名増員）
15 部活動の地域移行の推進、学校への部活動専門員の派遣			R5	●	・ 地域連携として、2校で拠点校方式による合同部活動のモデル事業を実施したほか、「函館市における休日の部活動地域移行推進計画」を策定 ・ 市HPに部活動の地域移行に係る検討状況等の情報を掲載し、周知を図った （R5：部活動のあり方等を協議する協議会の開催、先進地視察および児童生徒等へのアンケート調査の実施）
16 放課後の無料学習支援事業の実施（多様な子どもの居場所づくりの推進）	R5	●			・ アフタースクール運営事業の実施のほか、生活困窮世帯の中学生への学習支援事業を定員を拡大して実施（定員50名→100名） ・ 新たに小学生を対象とした町会館等における学習支援や民間商業施設を利用した中高生学習スペースの提供を実施
17 魅力ある図書館づくりの推進「多世代型の文化交流・創造拠点へ」			R5		・ 地区図書室の活性化を図るため旭岡・港図書室において住民対象イベントを継続実施
2 医療、福祉、暮らしを支えます					
18 看護系大学・看護学部設置検討			R6	●	・ 外部有識者による検討会議を開催し、会議から報告書の提出を受けた （R5：医療機関等へのアンケート調査や市内関係機関等へのヒアリング、先進事例調査を実施）
19 带状疱疹ワクチン接種への補助				●	・ R7年度からの助成実施に向け、他都市の事例調査や関係団体との協議等を継続（R7年度から接種費用助成を開始済）
20 南茅部病院新築建て替えの推進	R5	●			・ R9年度の開院に向け、基本設計を実施、実施設計に着手 （R5：基本構想および基本計画を策定）
21 安心できる地域医療提供体制の構築	R5				・ 北海道が策定した地域医療構想の推進に向け、地域医療構想調整会議へ参加し、協議を行った ・ 夜間急病センターの診療体制を維持し、R6年4月に市立函館病院への小児初期救急の受入移管した （R5：受入移管に向けた準備を実施）
22 高齢者交通助成の拡大（年間6000円から1万円に増額） ※高齢者の外出支援、免許返納促進	R5	●			・ R6年度から高齢者交通料金助成の上限額を6千円から1万円に増額 （R5：システム変更や市民周知等を実施）
23 プラチナ世代の人材バンク設立 ※認知症予防、高齢者の生きがいづくり			R5		・ 在宅福祉ふれあい事業費補助金、介護支援ボランティアポイント事業を継続実施したほか、更なるボランティア活動の促進に向け、現状分析等を実施
24 介護福祉養成校への補助増額など介護人材確保対策の強化	R5	●			・ R6年度から地域定着奨励金の支給を開始 （R5：制度の事前広報を実施） ・ 介護福祉士養成施設等が行う介護人材養成活動への助成のほか、介護職員等の研修費用補助や潜在介護職員等への就労支援、小・中学生を対象とした体験講座等の継続実施
25 福祉法人間連携による研修、採用の仕組みづくり				●	・ 全国の設置状況や活動状況、設立に向けた支援の状況について情報収集を行った
26 福祉人材海外研修の実施				●	・ 他団体の類似制度の現況調査等を行いながら、内部検討を継続
27 手話言語、障害者コミュニケーション条例の制定				●	・ 検討委員会を設置し、条例制定についての調査・検討を実施 （R5：学識経験者、当事者団体等との懇話会を実施）
28 ストップ糖尿病アクションプランの策定・推進			R6	●	・ 糖尿病予防に特化した生活習慣改善等のアプローチ事業を実施したほか、アクションプラン策定に向け、関係機関との協議を実施
29 科学的アプローチで市民の生活習慣改善を推進「健康寿命日本一を目指す」	R5				・ 第3次函館市健康増進計画に基づき、「はこだて市民健康大学」と連携したイベントや生活習慣病の予防対策やたばこによる健康被害の防止対策、企業等の健康経営を推進する普及啓発セミナーの継続実施 （R5：第3次函館市健康増進計画の策定ほか）

市長公約の令和6年度(2024年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み、または推進中のもの（実施とした年度を表記）
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの（一部実施とした年度を表記）
 検 討 中 : 実施に向け、検討を行っているもの（該当するものに●）
 ※うち新規等：市長就任後に新規に実施、または拡充して実施のもの（該当するものに●）

公約項目	実 施		一部実施		検 討 中	R 6 年度までの取組内容
		うち新規等		うち新規等		
30 がん検診率の向上対策の強化	R5	●				・がん検診無料クーポン券の継続配付 （R 5：配付対象に40歳を追加） ・HP・SNS等による情報発信や受診勧奨チラシ配付等を継続実施
31 口腔内健康の向上強化	R5	●				・成人および妊産婦への歯科健康診査を、対象を40歳以上から20歳以上に拡大して継続実施したほか、学校、企業、介護施設等への歯科医師派遣による講話、研修等を継続実施
32 妊産婦に対する保健師等支援強化	R5	●				・R 6年4月に開設した「子ども家庭センター」の一部として、マザーズ・サポート・ステーション事業(面談、訪問等)を継続実施したほか、支援が必要な妊娠8カ月頃の妊婦に対する支援体制を強化
33 除排雪の強化（予算の確保、通学路除排雪の強化、GPSやIT活用、持続可能な除排雪体制や雪堆積場の確保など）	R5	●				・R 7年度からのGPSを活用した除雪管理システムの導入に向け、試験運用を実施 （R 5：R 6からの試験運用実施に向け、他都市の導入事例を調査）
34 街路灯整備の町会負担分の無償化			R5	●		・町会負担の軽減を図るため、街路灯設置にかかる補助上限額の引き上げを実施したほか、街路灯に関する町会の負担軽減の手法について内部検討を実施 （R 5：R 6からの上限額引き上げに向け、制度改正を実施）
35 町会アドバイザーの全国公募と若者加入の促進					●	・町会アドバイザーの活用に向けた内部検討を実施 ・若年世代の関心を高めることをテーマとした町会活性化モデル事業の実施のほか、SNS活用によるPR等の継続実施
36 老朽化している市道の整備推進	R5	●				・舗装修繕計画の見直しに向け、市道の劣化状況等を把握する路面性状調査を実施
37 空き家、空き室の活用対策と高齢者に対する住宅の確保・支援	R5					・高齢者等各種相談窓口での住宅の確保・支援に関する情報提供・相談対応のほか、空家等の改修支援補助制度を継続実施 （R 5：函館市居住支援協議会において実施した実態調査を踏まえ、住宅確保要配慮者に対応可能な民間賃貸住宅をつなぐ枠組を検討）
38 歴史的建造物の保存強化と所有者への支援充実	R5					・歴史的建造物等の保存・保全や活用に向けた補助を継続実施したほか、保全調査・所有者アンケートによる状況把握を踏まえ、さらなる補助制度充実のため、新規補助制度の要綱を制定（R 7年度から歴史的建造物活用促進事業補助金を開始済）
39 過疎地や高齢者の足となる公共交通機関の支援	R5	●				・バス生活路線の維持・確保のため赤字路線に対する支援や公共交通運転手確保のための就職相談会を継続実施 ・二種免許取得に係る補助制度を創設したほか、西部地区においてAIデマンド交通の実証運行を実施 （R 5：地域公共交通計画を策定し、計画に基づく各種取組の展開に向け、検討を実施）
40 近隣に公衆浴場の無い公営住宅の問題解決に努める	R5	●				・湯川団地の公共浴場の運営を継続 （R 5：湯川団地に隣接する廃業した公衆浴場を市が取得し、市直営として共同浴場の運営を開始）
41 小規模公衆浴場の運営支援の強化	R5	●				・経営安定化のため光熱費や設備改修費等への補助を継続 （R 5：補助上限額の引き上げ）
42 動物愛護センターの誘致推進、動物愛護団体への支援拡充	R5	●				・R 6年11月から北海道との協力、連携によるセンターの運用を開始したほか、関係機関等との意見交換を実施 （R 5：運用開始に向け、北海道などとの協議を実施）
43 結婚支援の推進（出会いの場サポート事業）					●	・事業実施に向け、他都市の事例調査等を実施
44 ライフプラン相談センターの設置					●	・事業実施に向け、他都市の事例調査等を実施
45 市の各種手続き・サービスのデジタル化を実施、デジタルファースト条例の制定			R5	●		・函館市デジタル変革推進プラットフォームを設置し、官民共同で地域課題の解決に取り組む体制を構築したほか、子育てに係るオンラインサービスの充実やオンライン申請可能な手続きの拡充を実施 （R 5：函館市デジタル変革推進ビジョンの策定、函館市公式LINEのリニューアル、オンライン申請可能な手続きの拡充）

市長公約の令和6年度(2024年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み、または推進中のもの（実施とした年度を表記）
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの（一部実施とした年度を表記）
 検 討 中 : 実施に向け、検討を行っているもの（該当するものに●）
 ※うち新規等：市長就任後に新規に実施、または拡充して実施のもの（該当するものに●）

公約項目	実 施		一部実施		検 討 中	R 6 年度までの取組内容
		うち新規等		うち新規等		
46 市の各部局が市民、事業者の要望をくみ取り、市政運営に活かす仕組みづくり	R5	●				・市民の声の継続実施や、各種団体や学生との懇談会の場を設定し、要望・意見等を把握するとともに、各部局が市民等からの様々な声を拾い上げ、各種施策づくりの参考にすることについて、通知文書や広報連絡会議の場を活用して周知を図った
47 国際緊急災害支援の拠点都市形成					●	・国における災害時等の船舶を活用した医療供給体制の整備の検討状況に係る情報収集を実施
48 市長直轄の危機管理監を設置、初動体制の強化	R5	●				・R 6 年4月に危機管理監を配置し、各種計画の改定および準備作業を実施したほか、各種災害に備え、危機管理監主導のもと関係部局会議を開催するなど、災害対応の初動確認を実施
49 災害時要支援者個別避難計画の作成促進	R5	●				・個別避難計画の作成を継続実施したほか、避難行動要支援者名簿システムを改修
50 消防団員の待遇改善、定数確保	R5					・ポスターやチラシ等による入団促進運動を継続実施したほか、訓練体験会を開催 ・協力事業所に対する優遇措置制度の検討を継続実施
51 救急車等の緊急車両の整備推進	R5					・消防車・救急車等の計画的な更新を継続実施
52 老朽化した水道管の更新計画の策定	R5					・第2期老朽管更新計画および函館市上下水道事業経営ビジョンに基づく計画的な整備を継続して行った
53 危険な老朽家屋の解体の推進	R5					・空家等の除却支援補助制度を継続実施したほか、所有者不明土地建物管理制度等を活用した特定空家等の解消に向けた取組を継続実施（R 5：空家等実態調査を実施）
54 児童公園等の遊具の定期点検強化と整備	R5					・遊具等施設の点検・修繕のほか、函館市公園施設長寿命化計画に基づく改築・更新を継続実施
55 事故、暴力、犯罪、自殺などに対し、多機関と住民が協働する「セーフコミュニティ」の形成					●	・他都市の取得状況の把握等を行った
56 犯罪被害者支援条例の制定					●	・国や道主催の研修会に参加し、国や道の検討状況について情報収集するとともに内部検討を継続実施
57 再犯防止計画の策定と対策の実施	R5					・函館地区保護司会事業への補助金および更生保護法人函館創生会への負担金を継続支出 ・第4次函館市地域福祉計画の記載内容を見直し、地方再犯防止推進計画である旨を明記した
58 大間原発建設凍結に向けた建設差し止め訴訟の取組	R5					・訴訟を継続実施
59 女性とともに未来100人委員会の設置（市長が女性の意見を聞き、市政に反映）			R5	●		・市長と女性の意見交換会を3回開催（R 5：2回開催）
60 女性の社会活動や地域貢献に関する実態調査と、その支援					●	・内部検討を継続実施
61 性別に関わらず、誰もが働きやすい職場環境づくり	R5					・企業へのワーク・ライフ・バランスアドバイザーおよびL G B Tフレンドリー企業推進アドバイザーの派遣を継続実施
62 女性の雇用や再就職支援、相談機能の充実	R5					・女性等の雇用促進を図る企業向けセミナーや女性等の潜在人材掘り起こしに向けた就職基礎講座、企業とのマッチングイベント等を継続実施したほか、働き方に関する市民調査を実施
63 男性の育児休業取得の促進	R5					・市HPや子育てアプリ等により、企業や父親への制度周知を継続実施（市HPのリニューアルを実施）
64 えるぼし取得の促進（女性活躍推進優良企業に対する厚労省の認定制度）	R5					・市HP等により企業への制度周知を継続実施（市HPのリニューアルを実施）
65 性暴力被害者相談窓口の充実	R5					・性暴力被害者支援や保護・自立援助を要する女性の相談体制を継続して確保
66 性犯罪・性被害・DVの予防に向けた取組の充実	R5					・CAPプログラムの活用による予防教育として、希望する中学校でデートDV教室の講座を継続実施

市長公約の令和6年度(2024年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み、または推進中のもの（実施とした年度を表記）
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの（一部実施とした年度を表記）
 検 討 中 : 実施に向け、検討を行っているもの（該当するものに●）
 ※うち新規等：市長就任後に新規に実施、または拡充して実施のもの（該当するものに●）

公約項目	実 施	一部実施		検 討 中	R 6 年度までの取組内容
		うち新規等	うち新規等		
67 「生理の貧困」対策の推進	R5				・女性つながりサポート事業における相談の実施および生理用品の継続提供を行った
68 市役所管理職の女性登用率の向上	R5				・女性職員向け職員研修や研修機関への女性職員の派遣、多様な部門への女性職員の配置を継続実施
69 バリアフリー構想の策定・推進				●	・内部検討を継続実施
70 障害者雇用の促進（企業へのアドバイザー派遣、発達障害等への理解促進）	R5	●			・重度障がい者等就労支援特別事業を開始したほか、障がい者の雇用促進を図るセミナーや理解促進を図る事業者等への研修会を継続実施
71 インクルーシブ教育の推進	R5				・インクルーシブ教育システムの構築に向け、教員向け研修を継続実施 ・特別支援教育支援員および特別支援教育巡回指導員を増員（支援員8名、巡回指導員2名増員）
72 精神障害に関する地域包括ケアシステムの推進				●	・地域包括ケアシステムのあり方について、内部検討を継続実施
73 性の多様性に対する理解促進、パートナーシップ宣誓制度導入自治体との連携	R5				・企業へのLGBTフレンドリー企業推進アドバイザーの派遣や、市民・企業向け周知啓発イベントを継続実施 ・パートナーシップ宣誓制度導入自治体との連携を継続
74 多文化共生意識の啓発、コミュニケーション支援の充実	R5	●			・外国人住民と市民の交流行事の継続実施や多言語音声翻訳サービスの継続配置のほか、新たに市民を対象とした共生フェスを実施
75 障害者アートまちなか美術館の開催、障害者芸術文化活動の拠点づくりの推進	R5				・授産製品の販売促進を図るため、障がい者作品展の開催を継続
76 障害者が気軽にスポーツを楽しめる環境の整備、指導者の育成・支援	R5	●			・身体障がい者がスポーツを体験できる場として、車椅子バスケットボール等のスポーツ教室やはこだて市民健康大学のイベント内で北海道と共催で、障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめる「北海道みらい運動会」を開催
3 経済・観光を再生します					
77 根付魚種の放流事業・養殖事業の充実・拡大、北大および水産試験場との連携強化（コンブ、ウニ、アワビ、タコ、カレイ等）	R5	●			・キングサーモン・コンブの完全養殖技術研究、天然コンブの繁殖技術研究等を継続実施（R5：生育不良ウニ蓄養試験）
78 磯焼け対策の推進	R5	●			・漁場の管理保全を図るため、雑海藻やウニの駆除、天然コンブ繁殖対策等への補助や藻場の保全等の活動を行う協議会への負担金支出の継続実施したほか、天然コンブの資源回復のため藻場投石やウニの密度管理等を継続実施 ・北海道による漁場整備事業への市負担分を継続支出
79 投石等による藻場や産卵礁の整備、資源の確保	R5	●			
80 イカ、マグロ等の漁船漁業への支援強化	R5	●			・小型イカ釣り漁業の出漁を支援するための補助を、期間を延長して継続実施（10月末まで→1月末まで）
81 河川整備・植林拡大 ※汚泥の流出を削減し、海の環境を守る	R5				・河川浚渫工事による治水対策や治山事業の継続実施
82 漁協との連携を強化し、就業人口・所得の拡大に取り組む	R5				・漁業就業支援フェア（札幌市）への参加のほか、漁業に必要な資格取得費の一部補助を継続実施
83 未利用水産資源の活用研究	R5	●			・ブルーカーボンの活用事業実施に向け、モデル地区におけるCO2吸収量調査を実施し、クレジット認証を受けた（R5：事業実施に向けた関係機関等との事前協議を実施）
84 ビニールハウス栽培への支援を強化し、通常出荷体制を拡大・充実	R5				・農作物の荷受け設備等の整備補助や農業用機械等の購入資金の貸付を継続実施
85 農協との連携を強化し、就業人口・所得の拡大に取り組む	R5	●			・新規就農者への補助の継続実施や農業法人への補助の実施および農業法人参入フェア（東京）へ継続参加 ・グリーン・ツーリズムの推進に向け、ツアー商品の造成等を実施 ・農地の集積等による生産性向上を図るため、「地域計画」を策定
86 肥料の高騰に対する支援強化	R5	●			・肥料の価格上昇分の一部補助を実施（R5年度繰越事業）
87 山林の整備（植林、下刈、枝打ち等）に対する支援を充実し、美しい山を創る	R5				・私有林の適正管理のため補助事業を継続実施したほか、未整備森林所有者と協議を行い、森林経営計画への参加を促し、未整備森林の適正管理を進めた

市長公約の令和6年度(2024年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み、または推進中のもの（実施とした年度を表記）
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの（一部実施とした年度を表記）
 検 討 中 : 実施に向け、検討を行っているもの（該当するものに●）
 ※うち新規等：市長就任後に新規に実施、または拡充して実施のもの（該当するものに●）

公約項目	実 施		一部実施		検 討 中	R 6 年度までの取組内容
		うち新規等		うち新規等		
88 間伐材の利用促進	R5					・ 間伐材を含めた地域材について、公共工事での利用や木育工作教室の開催などの利用促進に向けた取組を継続実施
89 自然エネルギーコミュニティ構想の策定・推進（北海道と連携し、再エネ導入、電力地産地消を推進）			R5			・ 再生可能エネルギー普及啓発のため、エコフェスタ等でのパネル展示やワークショップを継続実施したほか、再生可能エネルギーの導入拡大を図るため、太陽光発電システム等の導入に係る補助を継続実施 ・ エネルギー地産地消の実現に向けた検討を実施
90 オール函館体制によるスタートアップ支援の強化	R5					・ 創業支援として、函館地域産業振興財団との共催により、事業費用の助成やセミナー・相談事業等を継続実施したほか、若者の創業を促進する学生向けセミナーや起業体験プログラム等を実施
91 Society5.0に対応した人材育成と大学発ベンチャー創出支援	R5					・ 未来のIT人材育成のため、ロボット教室やプログラミングコンテスト等を継続実施
92 交通アクセス、人材養成、都市ブランドを活かした企業誘致の強化	R5	●				・ 企業訪問や誘致イベントへの参加、オンラインでの面談等における企業誘致活動を実施 ・ 企業立地に係る設備投資への補助を継続実施したほか、立地環境の調査に係る視察費用やサテライトオフィス等の開設・運営に係る経費の補助を実施
93 臨港地区の土地利用規制の緩和と活性化					●	・ 内部検討を実施
94 ふるさと納税を活用した産業振興とシティプロモーション（4年後の目標：年間寄付額100億円）	R5	●				・ 寄附額の拡充に向け、外部事業者への業務の包括委託や市内事業者向けの勉強会等を実施し、返礼品開発の促進を図ったほか、ポータルサイトの新規開設やシティプロモーションと各種宣伝広告の充実等、PR強化を行った
95 中小企業振興基本条例の実効性向上（中小企業活性化戦略の策定・推進）					●	・ (仮称)経済振興プラン策定に向け、中小企業振興審議会の開催や現在の地域経済の実態調査を実施したほか、関係団体への意見募集を実施
96 販路拡大支援の強化と新たな地域ブランド形成	R5	●				・ 函館産農水産物のPRとして、はこだてグルメサーカス等の食関連イベントへの出展や料理教室の開催、「函館いか祭り」に継続して参画 ・ 海外販路の拡大に資する展示商談会等の参加経費の補助やR5から開始したEC導入費の補助を継続実施したほか、R6年度から新たな特産品開発に対する補助を開始
97 生鮮食料安定供給の基幹インフラである水産物および青果物地方卸売市場の機能強化に向けた取組の推進	R5	●				・ 水産物・青果物地方卸売市場の改良工事や維持補修に係る緊急工事の継続実施 ・ 卸売市場に対する認知度向上のため、水産物卸売市場において動画制作・公開を実施
98 人口減少・少子高齢化に対応した雇用・労働政策の着実な推進	R5	●				・ 大手就職情報サイトに市内企業の採用情報やインターンシップ受入情報を継続発信するほか、高校生の仕事体験を通じて市内企業の魅力を伝えるしごとフェスタの継続開催 ・ 市内企業等の情報発信、UIターン希望者向けの求人掲載・マッチング等をコンテンツとするポータルサイトの運営の継続実施 ・ R6年度から奨学金返還支援制度を実施（R5：制度の事前広報を実施） ・ 道内企業に就職し函館移住の意思がある東京圏の学生の就職活動に要する交通費支援制度を創設
99 DX人材リスキリング支援（デジタルスキル研修支援）の実施	R5					・ 市内中小企業等におけるDX推進のため、普及啓発セミナーや人材育成研修補助等を継続実施
100 ふるさとの職場を知る教育の実施 ※一旦地元を離れてもやがて戻ってくる人材サイクルの構築	R5					・ 中学生による職場体験等を継続実施
101 移住支援金の独自上乗せ支給の実施、移住担当の専任セクションを新設	R5	●				・ 移住支援金の対象要件を拡充し、支給を継続 ・ R6年4月に移住・人口減担当を設置し、移住フェアイベントへの継続出展のほか、お試し移住事業や移住サポーター認定制度を開始

市長公約の令和6年度(2024年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み、または推進中のもの（実施とした年度を表記）
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの（一部実施とした年度を表記）
 検 討 中 : 実施に向け、検討を行っているもの（該当するものに●）
 ※うち新規等：市長就任後に新規に実施、または拡充して実施のもの（該当するものに●）

公約項目	実 施		一部実施		検 討 中	R 6 年度までの取組内容
	うち新規等		うち新規等			
102 域内経済循環と地産地消の推進			R5	●		
①事業の地元優先発注の拡大			(R5)	(●)		・ 地元優先発注に係る各部局への周知啓発を継続実施したほか、工事関連の一部業務委託において、地元外企業も含めた発注から地元企業限定とする発注基準の見直しを実施
②はこだてグリーンプラザに地産地消カフェストリートを整備					(●)	・ グリーンプラザ内における賑わい創出に繋がる整備とするための実証実験の実施を、第2期の都市再生整備計画に搭載することとした
③地元の市場・商店街での回遊型ショッピング、ブランド力向上など市場・商店街の魅力発信・活性化	(R5)	(●)				・ 商店街支援のため、イベントや空き店舗活用、商業機能強化のほか、R 6 年度からイメージアップの取組を対象に追加し、補助を継続実施 ・ 中心市街地の賑わい創出として、五稜郭まちなかフェスティバルの継続実施
④地元食材活用促進キャンペーン等による消費行動変容の促進	(R5)					・ はこだてフードフェスタを継続実施したほか、函館産農水産物のPRとして、はこだてグルメサーカスや道外イベント等の食関連イベントへの出展や料理教室の開催、「函館いか祭り」へ継続して参画
⑤街なかファーマーズマーケットの開催			(R5)			・ 函館産農水産物のPRとして、はこだてグルメサーカス等の食関連イベントへの出展や料理教室の開催を継続実施
103 観光地域づくり法人（DMO）の設立、「観光地経営」の視点に立った戦略的な観光施策の推進					●	・ 内部検討を継続実施
104 観光消費額の増大（観光客1人当たり消費額の倍増を目指す）	R5	●				・ コンベンションの誘致活動やMICEの誘致商談会等への継続参加のほか、各種会議、大会、学会等の誘致等の各種補助の継続実施 ・ 4月に設立した「イーストジャパン・キャンペーン推進協議会」において旅行商品の造成等を行ったほか、中国富裕層向けのプロモーションや米国旅行者を誘致するプロモーションを実施（R 5：欧米向けインバウンドの動向調査を実施）
105 観光競争力強化プログラム（3年スパン）の新規策定	R5	●				・ 観光基本計画に基づく施策を実施（R 5：新たな観光基本計画を策定）
106 「Yakeiプロジェクト」を推進 ※函館夜景の魅力向上と海外への発信強化	R5	●				・ 山頂展望台の魅力向上や混雑緩和に向けた実証実験等を実施したほか、混雑状況配信システムを導入（R 5：現状把握や他都市の先行事例調査等を実施） ・ イーストジャパン・キャンペーン事業において「Yakei」を活用した商品の造成・販売
107 ラグジュアリーツーリズム（富裕層向け観光施策）の推進	R5	●				・ 中国現地でのセミナー開催など中国富裕層向けのプロモーションを実施
108 縄文文化や遺跡群のPR活動を充実・拡大し、世界へ発信	R5					・ イベントの継続開催のほか、拠点施設の誘致推進に向けた活動を継続実施（R 5：縄文遺跡群等への定期観光バス運行を目指した実証実験を実施）
109 「海」を活かした観光振興（マリレジャー・コンテンツ開発、フィッシングツーリズム）					●	・ 内部検討を継続実施
110 「食の都・函館」のブランド構築・発信強化	R5	●				・ 食ポータルサイトにおける特集記事の作成など掲載情報の充実やSNSフォローアップキャンペーンを実施
111 欧米向けプロモーションの強化	R5	●				・ 米国旅行博の出展や米国観光商談会への出席等、米国旅行者を誘致するプロモーションを実施（R 5：欧米インバウンドの動向調査を実施）
112 北関東・東北地方と連携し、外国人観光客を東京から北に向かわせる「イーストジャパン・キャンペーン」の実施	R5	●				・ 4月に「イーストジャパン・キャンペーン推進協議会」を設立し、旅行商品の造成・販売や海外観光客等へのプロモーションを実施（R 5：推進体制構築に向け、関係機関との協議を実施）
113 札幌・千歳から函館までの「大半島」広域観光連携の推進			R6	●		・ 関係自治体等へヒアリングを実施し、本市を含めた13自治体による情報交換会を開催した

市長公約の令和6年度(2024年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み、または推進中のもの（実施とした年度を表記）
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの（一部実施とした年度を表記）
 検 討 中 : 実施に向け、検討を行っているもの（該当するものに●）
 ※うち新規等：市長就任後に新規に実施、または拡充して実施のもの（該当するものに●）

公約項目	実 施		一部実施		検 討 中	R 6 年度までの取組内容
	うち新規等		うち新規等			
114 観光人材の育成（ガイド養成強化）	R5					・アドベンチャートラベル（ＡＴ）普及促進のための事業者交流会や人材育成を図るＡＴ体験会等を継続実施したほか、ガイド人材確保のためのスキルアップ研修会や野外災害救急資格取得講習会を実施
115 集客力のあるイベント開催（アートをテーマにした秋季イベント、新たな冬季集客イベントの創設）			R5			・グルメサーカスやMOMI-Gフェスタ、はこだてクリスマスファンタジー等の継続開催 ・アート誘客イベントの検討継続のほか、冬期誘客イベントの検討を実施
116 活火山「恵山」エリアの観光魅力づくり（灯台利活用、ランニング・自転車イベントの開催検討）	R5					・灯台ホリデイ in 恵山岬灯台公園の情報発信等、後方支援を継続実施 ・外国人受け入れ体制の整備に向けたニーズ把握のための検討を実施 （R5：道南初のサイクルルートとしてR5に認定された、本市域を含む「どうなん海道サイクルルート」のルートマップを作成）
117 朝の観光コンテンツづくりとナイトタイムエコノミーの推進			R5	●		・夜間のにぎわい創出のため、はこだてグリーンプラザのイルミネーション「はこだてルミポップ」を継続実施 ・イーストジャパン・キャンペーン事業において、「Yakei」「スナック」などを活用した商品を作成・販売 （R5：ナイトタイムエコノミー推進に向け、関係団体との協議を実施）
118 ユニバーサルツーリズム（高齢、障害の有無にかかわらず誰もが参加できる旅行）の推進、道内ネットワークの拠点形成					●	・バリアフリーノウハウ習得セミナーへの参加のほか、効果的な情報発信手法等の検討を継続実施 （R5：他都市の先行事例調査等を実施）
119 新幹線の現函館駅乗入れに関する調査の実施	R5	●				・函館駅乗り入れに関する調査結果について市民フォーラムを開催したほか、関係機関との打合せを実施 （R5：調査を実施し、結果を公表）
120 道内外の新規航空路線の充実、海外路線ネットワークの拡大（アジアからのゲートウェイに）	R5	●				・安定した路線維持に向け、市民等への就航路線のPRや函館線就航地でのPRを継続実施したほか、海外プロモーションの随時実施による函館線のPRを継続して行った ・空港業務に従事する人材確保を支援するため、「函館空港お仕事フェスタ」を開催 （R5：香港線季節運航、台北線新規開設）
121 函館空港の優位性を活かした周辺地域の活性化					●	・内部検討を継続実施
122 縦貫自動車道、函館・江差自動車道、新外環状道路（古川道路）、松前半島道路、尾札部道路等広域道路網の整備促進・早期着手・調査促進（国への要望）	R5					・市・市議会合同要望、渡島総合開発期成会、北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会等の道路4期成会により、国等への要望活動を継続実施
123 高速道路整備促進の担当部門を設置					●	・内部検討を継続実施
4 文化・スポーツ振興で未来を育みます						
124 国際文化芸術創造都市ビジョン策定・推進（まちが舞台となる劇場都市の形成）					●	・内部検討を継続実施
125 「五稜郭とその関連施設群」の世界遺産登録を目指す活動の推進と機運の醸成					●	・内部検討を継続実施
126 伝統的建造物など歴史資源を活かしたまちづくりの推進、都市ブランドの構築	R5	●				・西部地区における景観形成を図る住宅等に対する建築奨励金および函館市西部地区再整備事業を継続実施したほか、歴史的町並みの活用に向け、景観フォーラムを実施
127 総合ミュージアムの開設					●	・引き続き検討会議を開催し、「（仮称）総合ミュージアムの整備にあたっての基本的な考え方」を成案化
128 「函館・文化の日」の制定					●	・創立60周年記念に併せた「函館市民文化祭」の内容の拡充や関連イベントの開催促進など、市民が文化に親しむ機会を増やし、「文化のまち函館」の機運醸成を図った

市長公約の令和6年度(2024年度)進捗状況

【進捗状況】 実 施 : 実施済み、または推進中のもの（実施とした年度を表記）
 一部実施 : 公約の実施に資する一部の取組が行われているもの（一部実施とした年度を表記）
 検 討 中 : 実施に向け、検討を行っているもの（該当するものに●）
 ※うち新規等：市長就任後に新規に実施、または拡充して実施のもの（該当するものに●）

公約項目	実 施		一部実施		検 討 中	R 6 年度までの取組内容
		うち新規等		うち新規等		
129 ワールド・アーティスト・イン・レジデンス（海外・国内アーティストの招聘・滞在・交流事業の推進）	R5					・アーティストインレジデンスとして、国内アーティストの招聘を継続実施 ・はこだて国際民俗芸術祭開催に係る補助金を継続支出
130 地域文化資産を活用した文化事業への支援（地域活性化につなげる）			R5			・函館野外劇や歴史的建造物等を活用した文化活動などを継続支援
131 文化・スポーツを所管する市長部局を新設、各種文化スポーツ団体との連携・支援強化			R5	●		[市長部局新設] ・内部検討を継続実施 [文化スポーツ団体との連携・支援強化] ・スポーツ団体への支援や文化芸術団体への支援を継続実施（R5：文化芸術団体の活動を支援する補助金を創設）
132 スポーツコミッションの新設（大会・合宿誘致、スポーツツーリズムの人材育成、スポーツ・健康のまちづくりの推進）					●	・内部検討を継続実施
133 海に親しむ文化の醸成とマリレジャーの普及・振興（サーフィン、フィッシング、ビーチイベント等）	R5					・入舟海水浴場を継続開設 ・サーフィン等のマリレジャー体験会開催等への後方支援を実施 （R5：アーバンスポーツ、ニュースポーツ等の競技ごとに懇談会を実施し、普及振興策についての意見収集を行った）
134 スケートボード、スポーツクライミング等アーバンスポーツの普及、振興	R5	●				・はこだて市民健康大学のイベント内で、すべての市民がスポーツに親しめるアーバンスポーツ等の体験イベントを継続開催 ・アーバンスポーツ、ニュースポーツ等の大会開催への支援を実施 （R5：アーバンスポーツ、ニュースポーツ等の競技ごとに懇談会を実施し、普及振興策についての意見収集を行った）
135 スポーツクラブ等との連携強化と部活動の地域移行の推進			R5	●		・地域連携として、2校で拠点校方式による合同部活動のモデル事業を実施したほか、「函館市における休日の部活動地域移行推進計画」を策定 （R5：部活動のあり方を検討・協議する協議会を開催したほか、先進地視察や児童生徒等へのアンケート調査等を実施）
136 デジタル技術を活用した外出困難者のスポーツ参加機会の確保					●	・内部検討を継続実施
137 産学官連携によるeスポーツ振興プロジェクトの推進（体験拠点整備）			R5			・eスポーツを活用したIT人材の育成を継続して実施